

受 賞 者

福井県科学学術大賞

- (1)受賞者名 宮本 薫 (みやもと かおる)
[福井大学 医学部 教授]
- (2)業績名 幹細胞からのステロイドホルモン産生細胞の創出
- (3)業績概要 副腎などの形成に必須の遺伝子を用いて、間葉系幹細胞を、ステロイドホルモンを作り出す細胞へ変化させる方法を開発しました。併せて、万能幹細胞であるES細胞を、ステロイドホルモンを作り出す細胞へ変化させる方法も開発しました。将来、ステロイドホルモンを作り出す細胞を先天性ステロイドホルモン欠乏症の患者に移植することで、根本的な治療を行うことが期待されます。
- (4)表彰内容 表彰状、賞金100万円、記念品を贈呈

福井県科学学術大賞特別賞

- (1)受賞者名 下村 昭夫 (しもむら あきお)
[㈱下村漆器店 代表取締役社長]
- (2)業績名 越前漆器の多層コーティング技術を応用した超耐久性食器の開発
- (3)業績概要 越前漆器の重ね塗り技術を応用し、150℃の耐熱性を実現しながら、食器洗浄機に使用可能な漆器調の超耐久性プラスチック製IH対応食器を世界で初めて開発し実用化しました。開発された食器は、内側を効率よく加熱でき、外側は手に触れても火傷しない構造で、食品色素が付着しない表層加工も実現し、高い評価を受けています。加熱カート製造の大手企業との連携により、今後の売り上げ増が期待されます。
- (4)表彰内容 表彰状、賞金50万円、記念品を贈呈

福井県科学学術大賞特別賞

- (1)受賞者名 清川 肇 (きよかわ はじめ)
[清川メッキ工業(株) 代表取締役社長]
清川 卓二 (きよかわ たくじ)
[清川メッキ工業(株) 専務取締役兼品質保証部部长]
畑中 太郎 (はたなか たろう)
[清川メッキ工業(株) 品質保証部課長]
笠原 めぐみ (かさはら めぐみ)
[清川メッキ工業(株) 品質保証部主任]
- (2)業績名 めっき皮膜中の環境規制物質微量分析の開発
- (3)業績概要 極小の電子部品に含まれる環境規制物質検査において、これまでの全溶解による分析に対して、めっき層ごとに速く、安く、正確に分析する技術を世界で初めて開発し実用化しました。この技術は、日本のものづくりの土台であり、日本の産業を支えるナノテク分野では欠かせないものです。今後、この分析方法が、国際的に標準的な分析法として広く採用されることが期待されます。
- (4)表彰内容 表彰状、賞金50万円、記念品を贈呈

(参考)

【表彰式】

1 日 時 平成27年2月7日(土) 14時10分から

2 場 所 福井県県民ホール(AOSSA8階)
(第33回「ふるさとの日」記念行事の中で表彰式を行います。)

3 表彰内容 表彰状、賞金、記念品を贈呈

※表彰式終了後、14時35分から福井県県民ホール(AOSSA8階)楽屋4において
受賞者の記者会見を行います。

福井県科学学術大賞の概要

事業概要

福井県内において科学技術の開発または学術研究に携わり、本県の発展に大きく貢献したと認められる方を顕彰することを目的とした表彰制度です。

この賞は、県内の篤志家からの寄附金を原資として授与されるもので、“本県版のミニ・ノーベル賞”として位置付けられ、「物理」、「化学」、「生物」、「医学・生理学」、「経済」の5分野での業績が対象となります。

表彰の対象

福井県内において、物理、化学、生物、医学・生理学、経済の分野で特に顕著な功績を挙げ、産業の振興、地域の活性化その他住民の福祉の向上に貢献したと認められる個人またはグループの業績が対象となります。

表彰の内容

福井県科学学術大賞 表彰状、賞金100万円、記念品を贈呈

福井県科学学術大賞特別賞 表彰状、賞金50万円、記念品を贈呈

募集の方法

一般公募とし、応募方法は所属する団体等からの推薦または本人からの応募とします。

受賞者の選考

応募のあった方を対象に、福井県科学学術大賞選考委員会で受賞候補者を選考し、知事が受賞者を決定します。

昨年度、第9回福井県科学学術大賞を受賞された福井県立大学生物資源学部 濱野吉十(はまのよしみつ)准教授の業績が、県内で初めて、本年度の日本学術振興会賞と日本学士院学術奨励賞を併せて受賞しました。今後のますますの活躍が期待されます。

【業績名】 『ペプチド系抗生物質の生産を担う新奇微生物酵素の発見』

福井県科学学術大賞選考委員

専門分野	委員名	所属役職等
化学	委員 大橋 裕二	東京工業大学 名誉教授
物理	委員 長谷川 洋作	財団法人未来工学研究所 前所長
生物	委員 斎藤 成也	国立遺伝学研究所 教授
医学・生理学	委員 木村 吉延	福井大学 名誉教授
経済	委員 熊谷 一雄	株式会社日立製作所 名誉顧問